

中央防災センター基本設計の概要

設計コンセプト

I 防災拠点としての機能

防災拠点として、防災備蓄倉庫、災害対策本部代替施設等の機能を兼ね備えた計画とします。

II 迅速な災害対応と効率的な管理

防災備蓄庫は、大開口・高天井とし、パレット単位で効率的に収納できる倉庫空間を計画します。

III 経済性や環境性に配慮したエコデザイン

自然採光やLED照明器具を導入し、省エネルギー化を推進します。

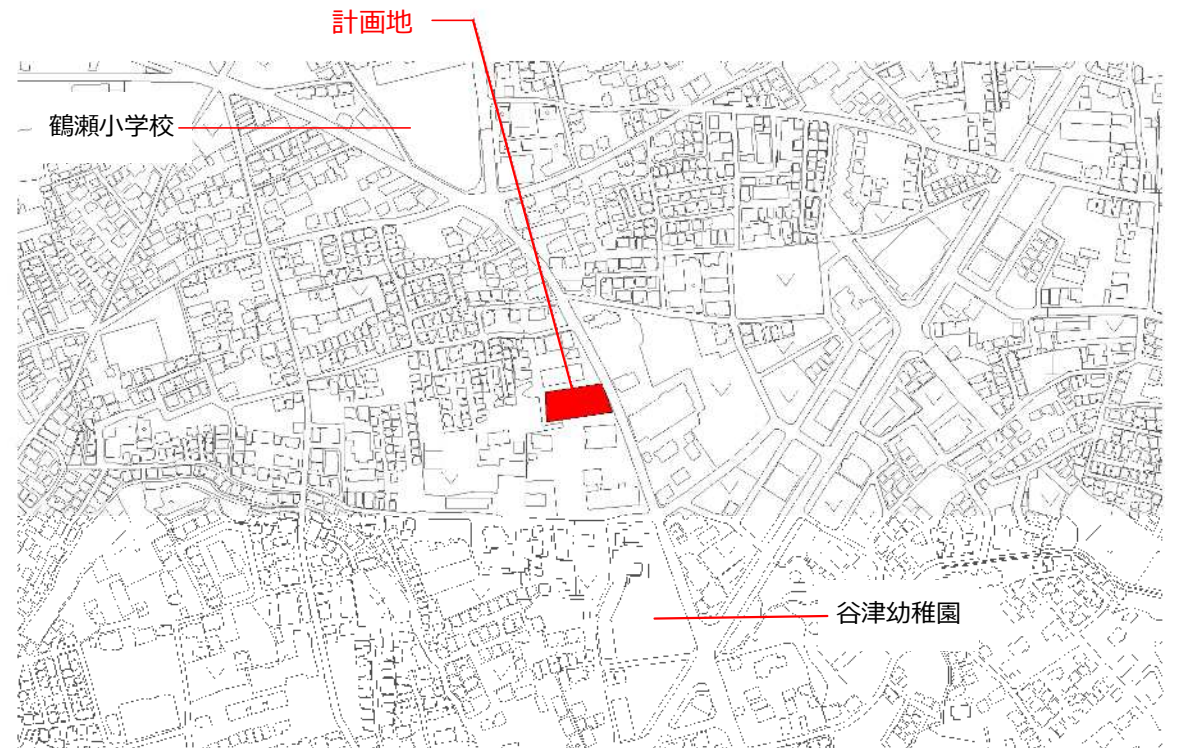
IV 周辺環境との調和

地域の景観や住環境に配慮し、周辺環境との調和に努めます。

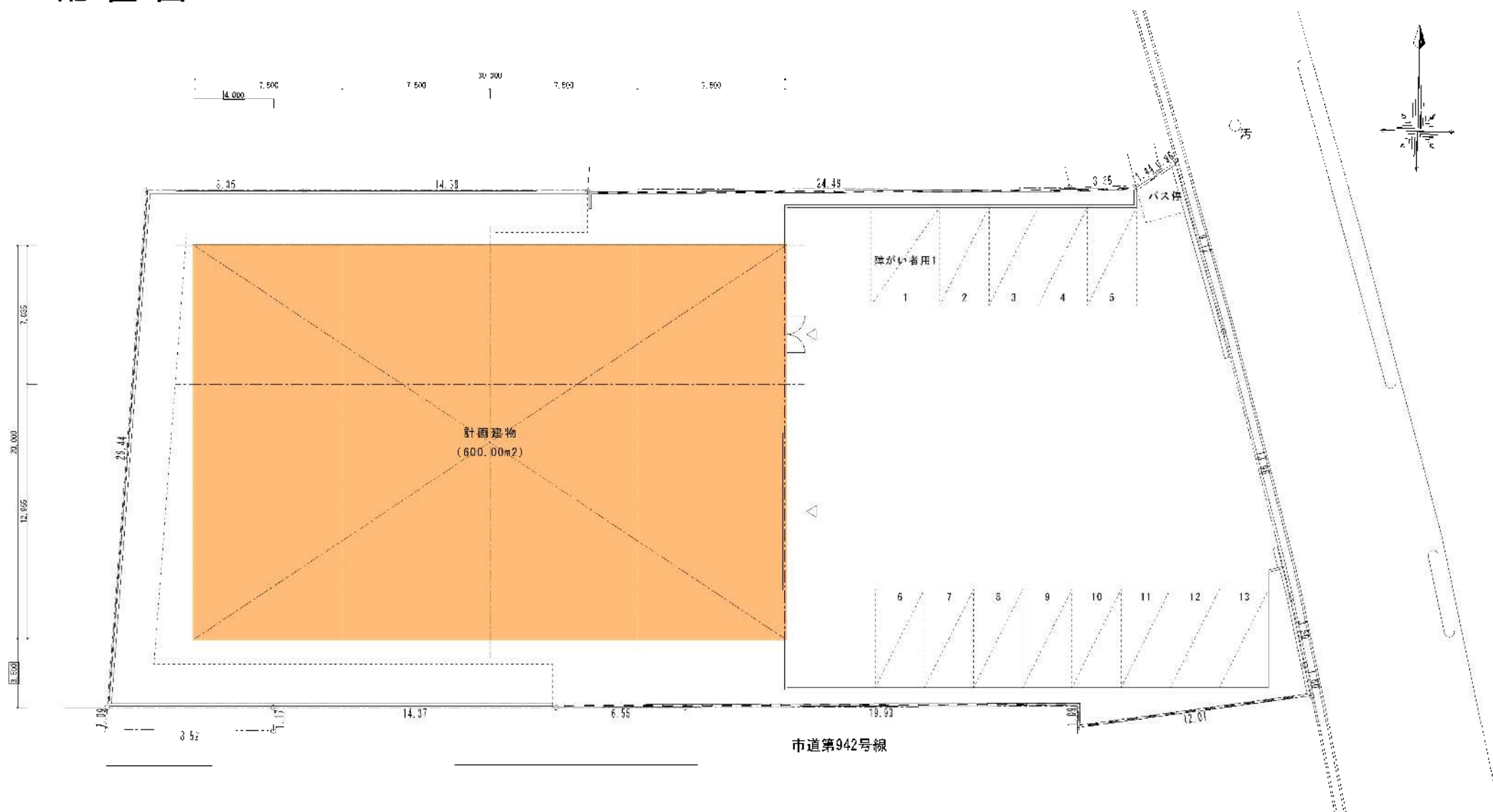
建築概要

主要用途	防災備蓄倉庫兼会議スペース
計画地	鶴瀬東2丁目2317番2 鶴馬1丁目2264番2
敷地面積	1514.98m ²
建築面積	660.00m ²
延床面積	600m ²
階数	地上1階平屋建て
最高高さ	7.430m
主要構造	鉄骨造
基本設計時 概算工事費	約4億5千万円

案内図



配置図



建物間取り



